

**米沢市都市計画マスタープラン
及び米沢市立地適正化計画策定
に関するアンケート調査結果
(調査結果)**

平成 31 年 3 月

米 沢 市

[目 次]

1. 調査概要	1
1-1 調査の目的	1
1-2 調査結果の概要	1
2. 調査結果	2
2-1 回答者属性	2
2-2 現況の満足度と重要度	3
2-3 都市の将来像.....	8
2-4 分野別まちづくり	13
2-5 まちづくりへの住民参加.....	23
2-6 まちづくりに対する自由意見	24

1. 調査概要

1-1 調査の目的

- ・人口減少や少子高齢化など都市を取り巻く状況に大きな変化が見られており、これらに対応した都市構造の再構築を図り、持続可能な都市経営を図る必要がある。
- ・それらを見据えたまちづくり計画（米沢市都市計画マスタープラン及び米沢市立地適正化計画）を策定するにあたり、市民の意見を計画策定に反映することを目的としてアンケート調査を実施する。

1-2 調査結果の概要

- ・アンケート調査は、20歳以上の市民1,500人を住民基本台帳より無作為抽出し、637人から回答があった。
- ・今回の回収率は42.5%であり、平成23年2月に実施した前回調査時の回収率43.5%を1%下回る結果となった。

表 調査概要

実施期間	平成30年9月14日（金）～平成30年9月28日（金） ※ただし、9/28以降の返信票も全て回収・集計
配付・回収方法	配付：郵送配布 回収：返信用封筒による郵送回収
配付数・回収状況	配付数：1,500票（20歳以上、無作為抽出） 回収数：637票 回収率：42.5%

2. 調査結果

2-1 回答者属性

(1) 性別、年齢、職業

問1：あなたの性別をお選びください。
 問2：あなたの年齢をお選びください。
 問3：あなたの職業をお選びください。

- ・回答者の性別は、男性 45%、女性 55%となっており、人口性比と比べて若干女性回答者の比率が高い。
- ・年齢は、60歳以上が約 57%を占めており、高齢者の回答が多い。
- ・職業は、高齢者が多いことから無職が 31%となっており、次いで会社員の 27%となっている。

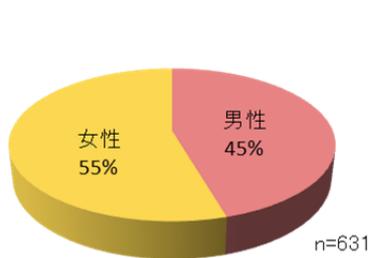


図 性別構成比

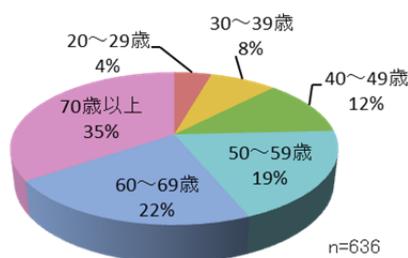


図 年齢別構成比

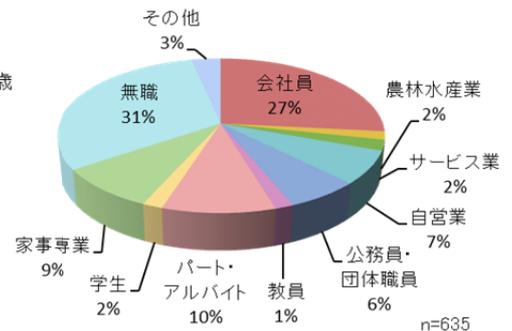


図 職業別構成比

(2) 居住形態

問4：米沢市での居住年数をお選びください。
 問5：あなたの家族構成をお選びください。
 問6：あなたのお住まいの住宅をお選びください。

- ・回答者の建物形態と居住年数をみると、持ち家の戸建てが 87%、30年以上居住していると回答した人が 79%を占めている。
- ・家族構成は、親子が 50%と最も多く、次いで夫婦のみが 22%となっている。

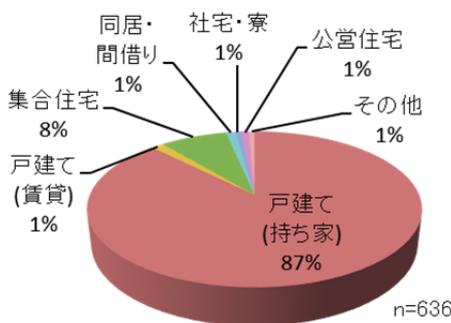


図 建物形態別構成比

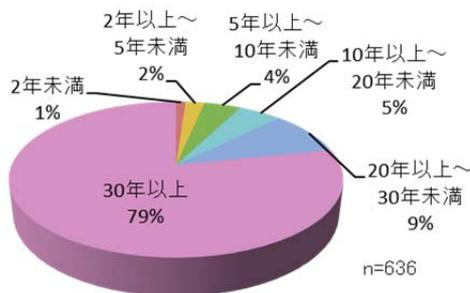


図 居住年数別構成比

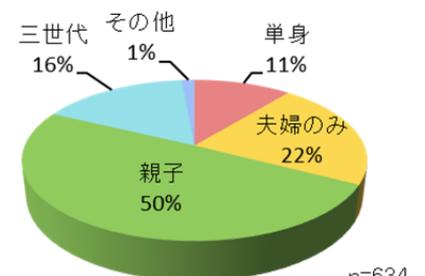


図 家族構成別構成比

2-2 現況の満足度と重要度

(1) 米沢市全体の現状

問7：本市の住みやすさや暮らしやすさについて、どのようにお考えですか。

・米沢市全体の生活環境については、「山並みや田園」、「緑や生態系」など自然環境に関する項目は満足度が高く、「商店街の賑わい」、「公共交通の便利さ」、「幹線道路などの除排雪」に関する項目は不満に感じている割合が高い。

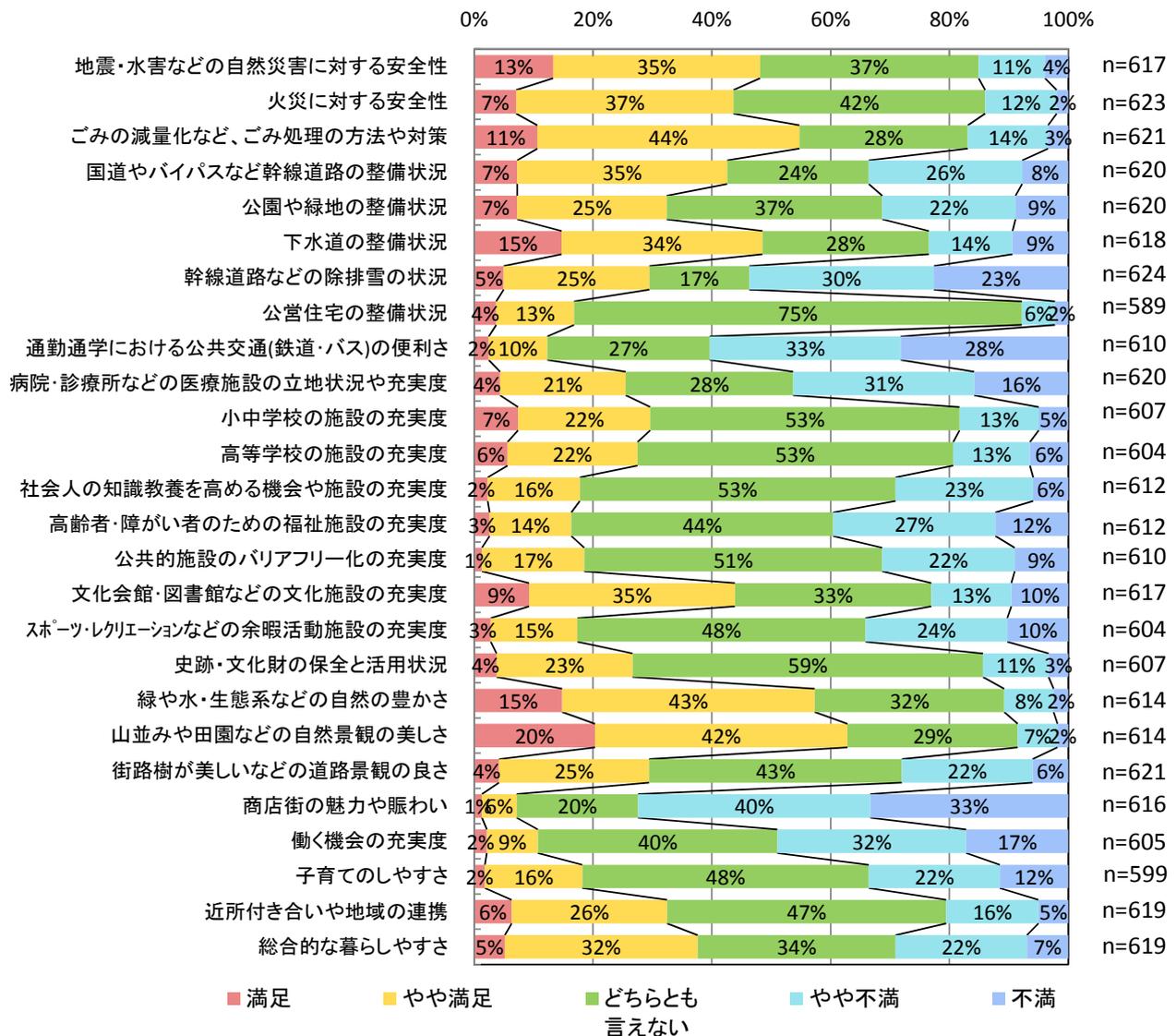


図 米沢市全体の満足度

・重要度をみると、「幹線道路などの除排雪」、「自然災害に対する安全性」、「医療施設の充実」に関する項目が高い。

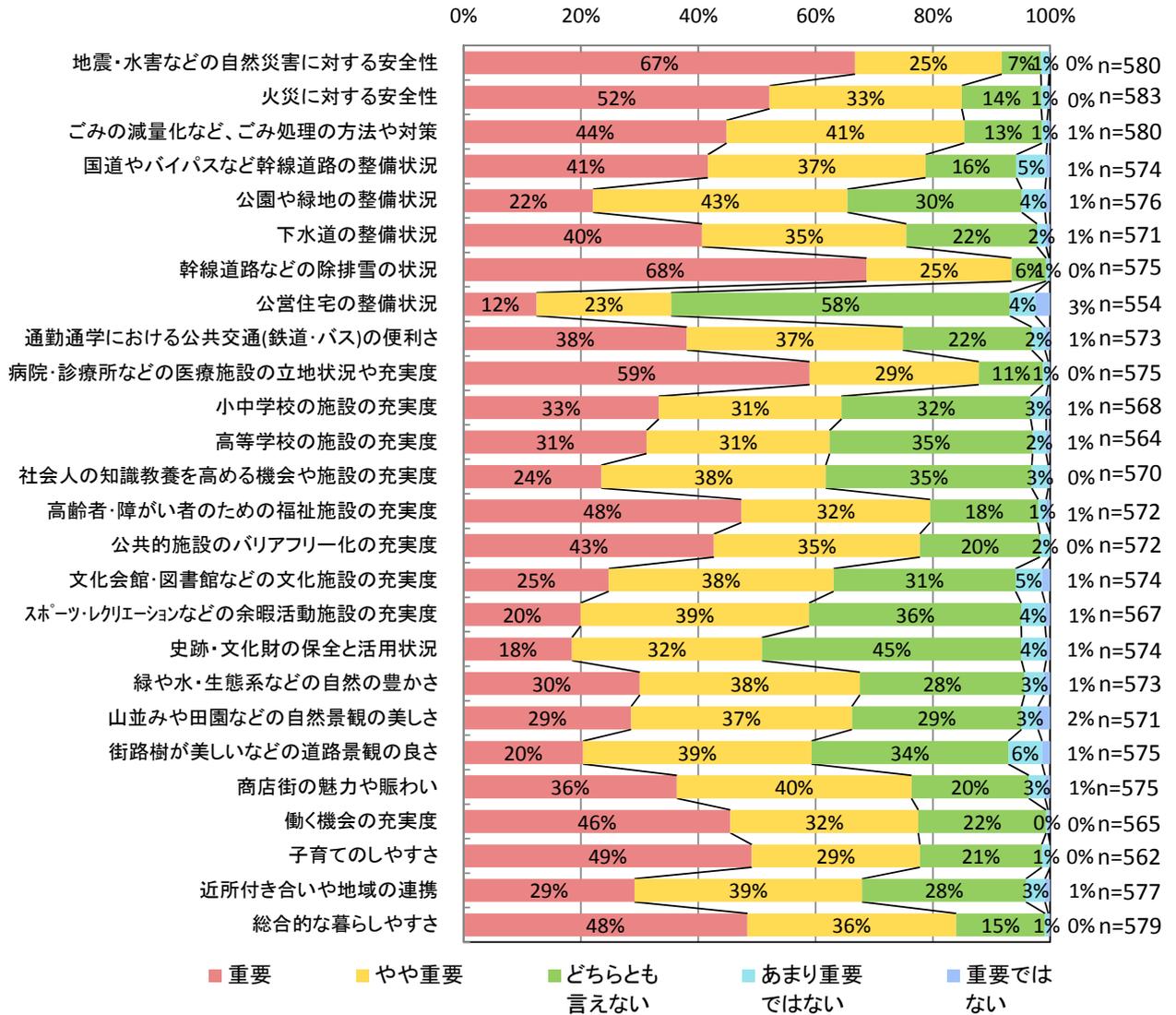


図 米沢市全体の重要度

・満足度と重要度の関係をみると、現状の満足度は低いが重要と考える項目として、「幹線道路などの除排雪」、「医療施設の充実」などが挙げられ、重点的な対応が求められていることを示している。

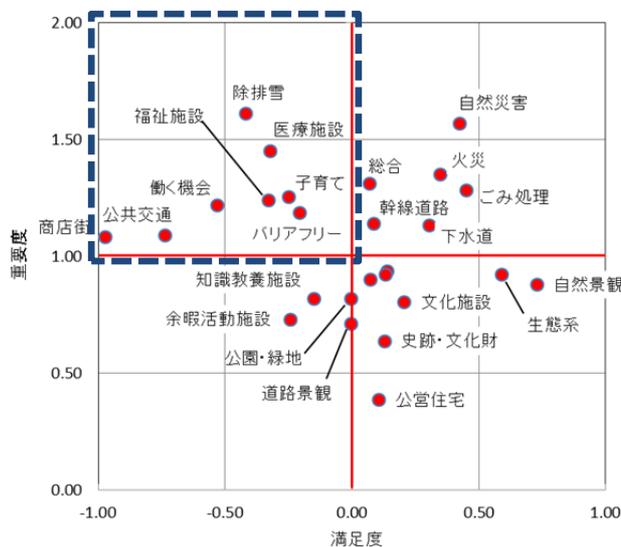


図 米沢市全体の満足度と重要度（点数化）

(2) 住まい周辺の生活環境

問8：あなたのお住まい周辺の生活環境について、どのようにお考えですか。

・住まい周辺の生活環境については、「日常の買い物の便利さ」、「雨水・生活排水の処理」に関する項目は満足度が高く、「身近な道路などの除排雪」、「身近な生活道路や歩道の整備」に関する項目は不満に感じている割合が高い。

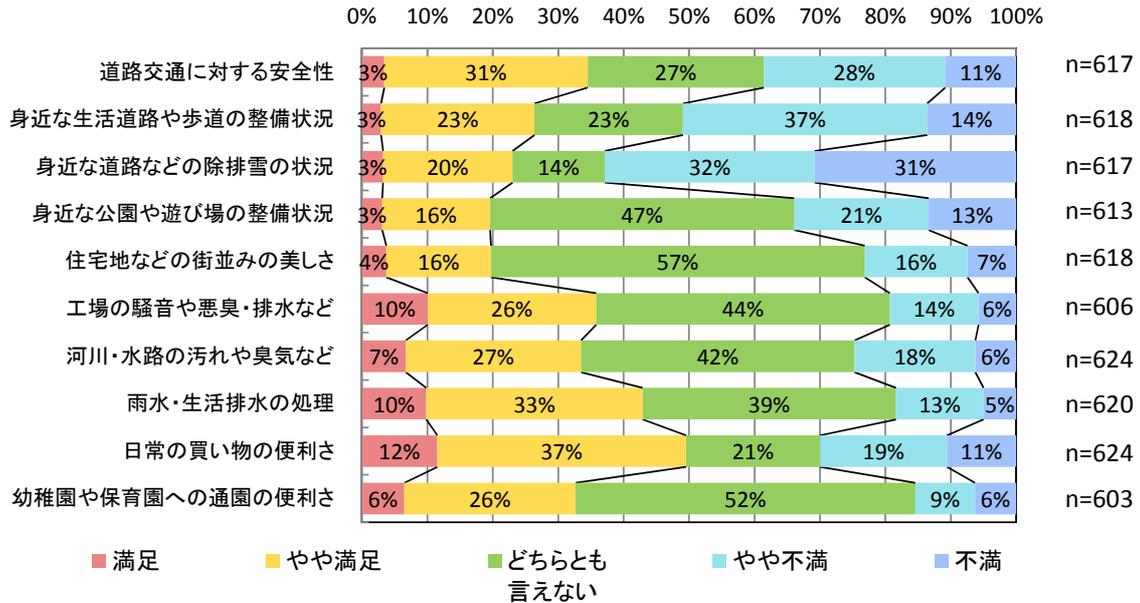


図 住まい周辺の満足度

・重要度をみると、「身近な道路などの除排雪」、「道路交通に対する安全性」、「身近な生活道路や歩道の整備」に関する項目が高い。

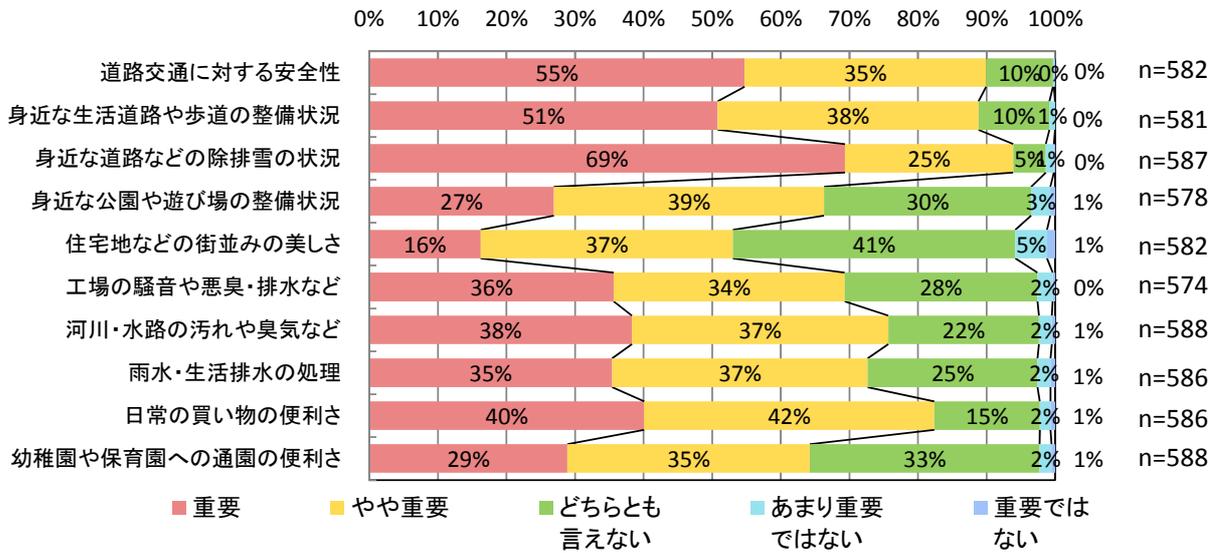


図 住まい周辺の重要度

・満足度と重要度の関係を見ると、身近な道路などの除排雪、道路交通に対する安全性、身近な生活道路や歩道の整備などの項目について、重点的な対応が求められていることを示している。

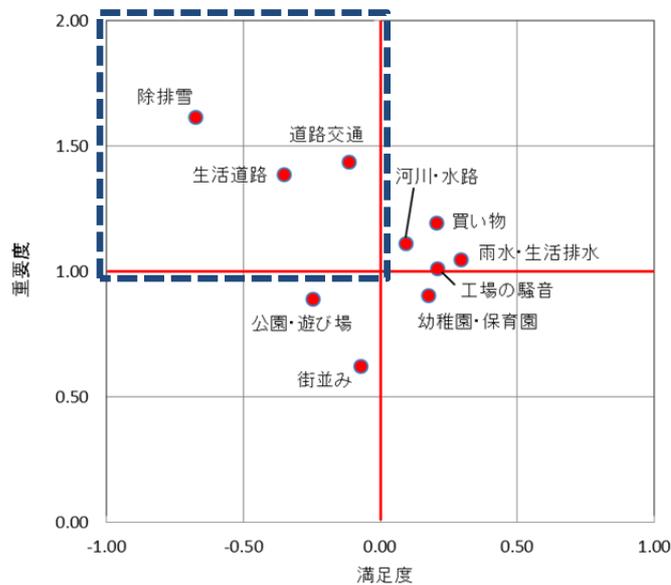


図 住まい周辺の満足度と重要度（点数化）

(3) 居住継続意向

問9：あなたはこれからも米沢市に住み続けたいですか。

- ・居住継続意向をみると、回答者の66%が現在の場所で住み続けたいと回答している。
- ・年齢別に移転希望割合をみると、他の市町村への移転を希望しているのは20歳代が最も多く36%であり、市内の別の場所への移転を希望しているのは30歳代が最も多く18%である。

項目		回答数	構成比
1	現在の場所	401	66%
2	市内の別の場所	75	12%
3	他の市町村	85	14%
4	その他	51	8%
小計		612	100%
99	無回答	25	-
合計		637	-

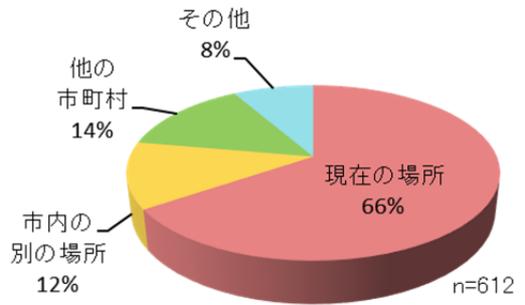


図 居住継続意向構成比

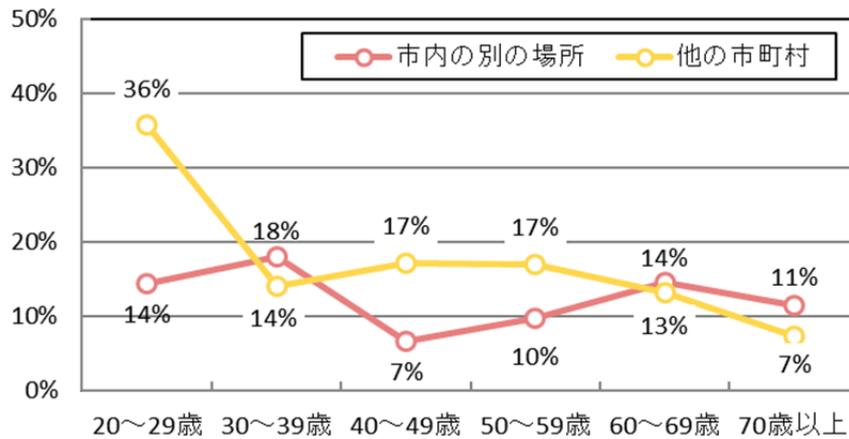


図 年齢別移転希望割合

2-3 都市の将来像

(1) 米沢市の将来像

問10：本市の将来像について、どのようなまちになって欲しいと思いますか

- ・米沢市の将来像として最も望まれているのは「医療や福祉を重視したまち」(57%)であり、次いで「交通の利便性が良いまち」(42%)、「安全なまち」(34%)となっている。
- ・年齢別にみると、20～30歳代は「子育てがしやすいまち」が高く、40歳代以上は「医療や福祉を重視したまち」の割合が高い。
- ・その他の自由回答をみると、まちの賑わい、排雪対策、福祉対策に関する意見が見られる。

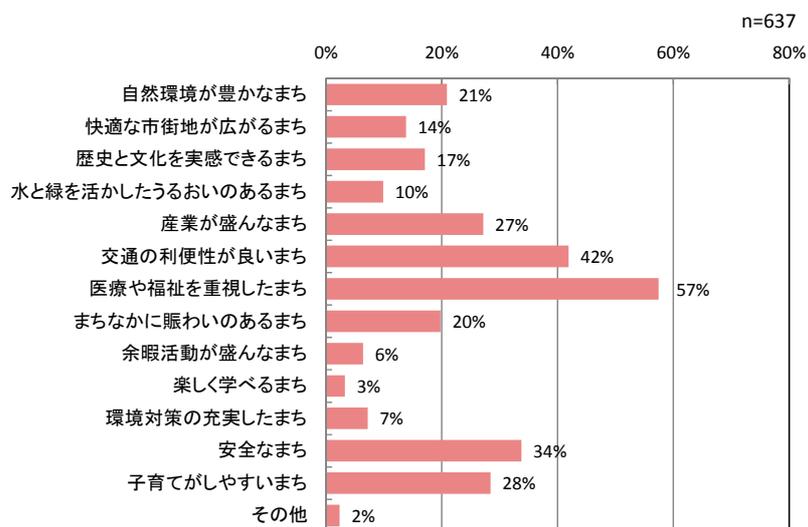


図 米沢市の将来像

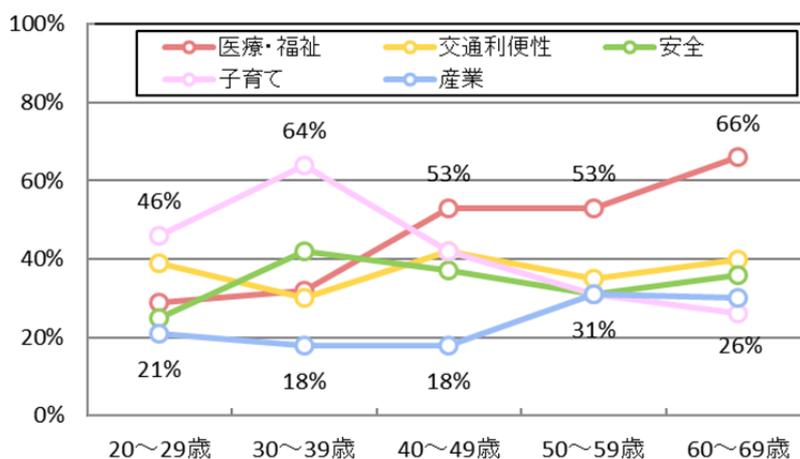


図 年齢別にみた米沢市の将来像

【その他の自由回答】

賑わい創出	<ul style="list-style-type: none"> ・人が集まるまち。 ・上郷にスーパーマーケットができるとうい。 ・アニメイトなどの関連施設がある。
排雪対策	<ul style="list-style-type: none"> ・雪対策がしっかりできるまち。 ・除排雪を徹底する。 ・雪がないまち。
福祉対策	<ul style="list-style-type: none"> ・増え続ける高齢者の運転の事故など、高齢者問題。 ・地域の為につくしてきた老人の憩いの場を造ってもらいたい。健康ランドとか。
安全性向上	<ul style="list-style-type: none"> ・治安・防犯対策強化。
学びの場	<ul style="list-style-type: none"> ・知性・品性・教養のあるまち。
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・室内で子ども達が遊べる所。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層が安心して残れるまち。 ・海外から注目されるまち。

(2) 米沢市が目指すべきまちについて

① コンパクトなまちづくりの必要性

問1 1：本市では、人口規模に見合った持続可能なまちをつくるため「コンパクトなまちづくり」を進めていくことを考えています。あなたの考えに最も近い番号を1つ選んでください

・“コンパクトなまちづくり”の必要性について、約7割が「必要」又は「どちらかと言えば必要」と回答している。

項目	回答数	構成比
1 必要	216	35%
2 どちらかと言えば必要	222	36%
3 どちらとも言えない	137	22%
4 あまり必要ではない	28	5%
5 必要ではない	12	2%
小計	615	100%
99 無回答	22	-
合計	637	-

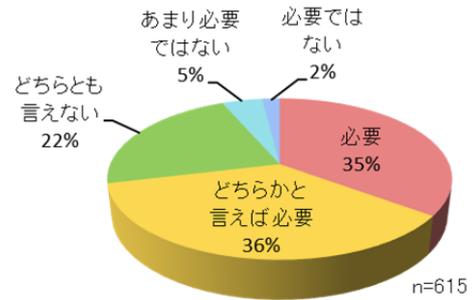


図 “コンパクトなまちづくり”の必要性

②居住者の集積誘導について

問1 2：「コンパクトなまちづくり」を進めていくために、「居住者の集積を誘導していく区域」を設定していきたいと考えています。あなたの考えに最も近い番号を1つ選んでください。

問1 3：「居住者の集積を誘導していく区域」を設定する場合、どのような場所を設定したら良いとお考えですか。

・「居住者の集積を誘導していく区域」の必要性について、「必要」又は「どちらかと言えば必要」と回答している人が56%となっているものの、「どちらとも言えない」と回答している人が31%を占めている。

項目	回答数	構成比
1 必要	123	20%
2 どちらかと言えば必要	219	36%
3 どちらとも言えない	190	31%
4 あまり必要ではない	60	10%
5 必要ではない	21	3%
小計	613	100%
99 無回答	24	-
合計	637	-

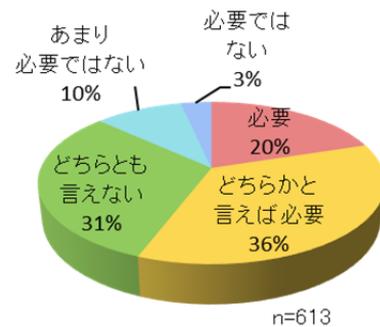


図 “居住者の集積を誘導していく区域”の必要性

- ・“居住者の集積を誘導していく区域”を促進する場所について、「病院・診療所が近い場所」が58%で最も高く、次いで「買い物施設が近い場所」(56%)、「災害の危険性が低い場所」(49%)、「公共交通が便利」(44%)と続いている。
- ・年齢別にみると、20歳代は「公共交通が便利な場所」(100%)が最も高く、70歳代以上は「病院・診療所が近い場所」(65%)が最も高くなっている。

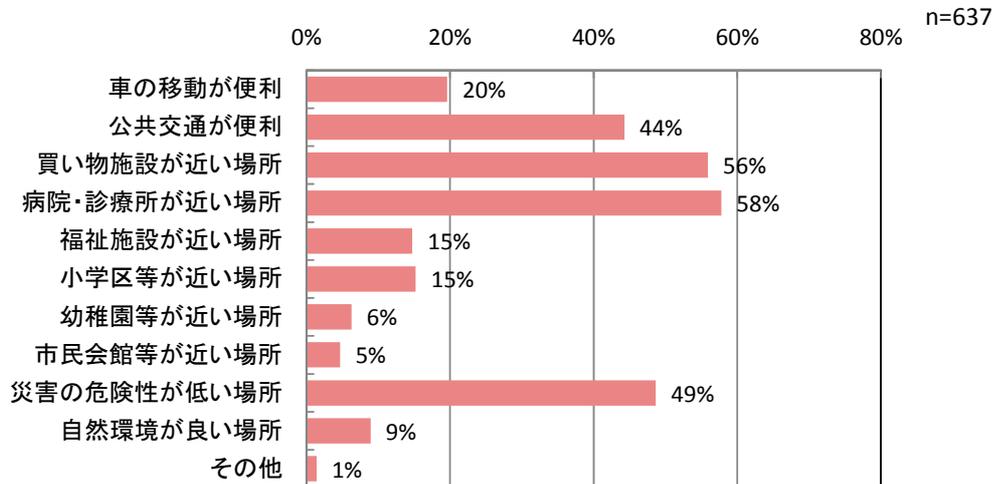


図 “居住者の集積を誘導していく区域”を促進する場所

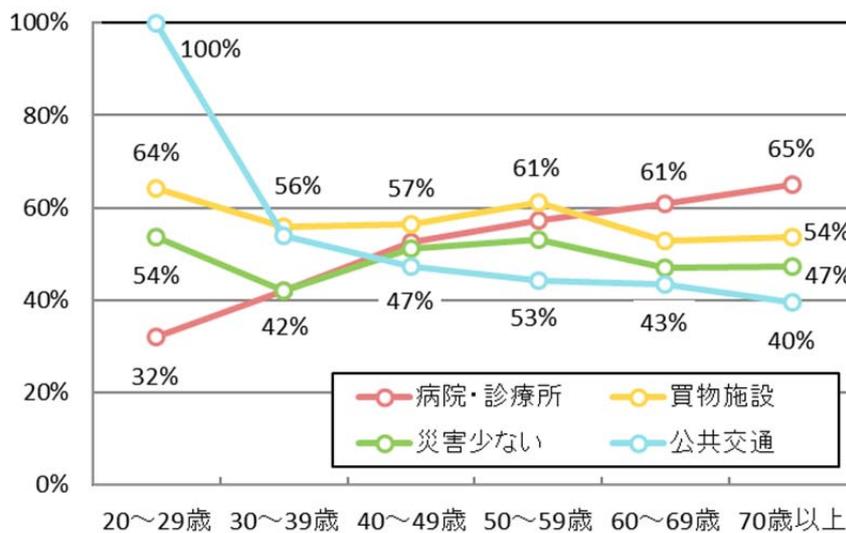


図 年齢別にみた“居住者の集積を誘導していく区域”を促進する場所

【その他の自由意見】

(居住者の集積誘導が必要)

- ・市役所の近く、金池北部地区。
- ・官公庁が近い場所。
- ・住みなれた地をはなれずこの地をどうしたら良いかを考えたい。
- ・米沢は冬を一番過ごしやすくすることで、人口もかわる。

(居住者の集積誘導は必要ではない)

- ・居住者の集積を誘導していくとその地域のみが混んでしまい住みにくくなるのでは？
- ・海外から人が来る地域にする。コンパクトな町に人は集まらない。
- ・コンパクトなまちづくりと居住者の集積は異なる。
- ・誘導は不要。
- ・必要なし。

③都市機能の集積誘導について

問14：「コンパクトなまちづくり」を進めていくために、「都市機能（商業施設、病院、公共公益施設等）の集積を誘導していく区域」を設定していきたいと考えています。あなたの考えに最も近い番号を1つ選んで○をお付けください。

問15：「都市機能（商業施設、病院、公共公益施設等）の集積を誘導していく区域」を設定する場合、どのような場所を設定したら良いとお考えですか。（次の中から2つ選んで○をお付けください。）

- ・“都市機能の集積を誘導していく区域”の必要性について、約8割が「必要」又は「どちらかと言えば必要」と回答している。
- ・“都市機能の集積を誘導していく区域”を促進する場所について、「公共交通が便利な場所」が64%で最も高く、次いで「車の移動が便利な場所」（34%）、「地域の中心となっている場所」（28%）と続いている。
- ・年齢別にみると、30歳代は「公共交通が便利な場所」の割合が他の年代に比べて低く、「車の移動が便利な場所」の割合が高い。

【都市機能の集積誘導について】

項目	回答数	構成比
1 必要	261	42%
2 どちらかと言えば必要	236	38%
3 どちらとも言えない	86	14%
4 あまり必要ではない	21	3%
5 必要ではない	12	2%
小計	616	100%
99 無回答	21	-
合計	637	-

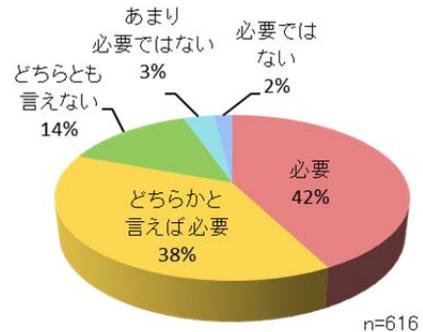


図 “都市機能の集積を誘導していく区域”の必要性

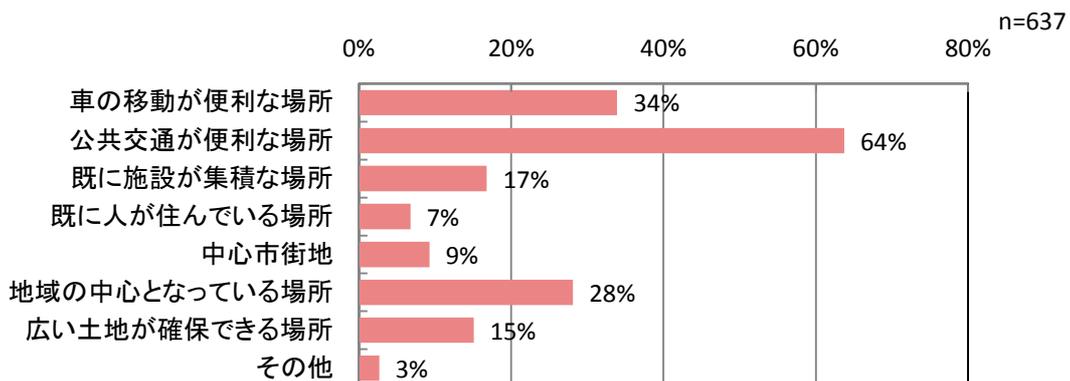


図 “都市機能の集積を誘導していく区域”を促進する場所

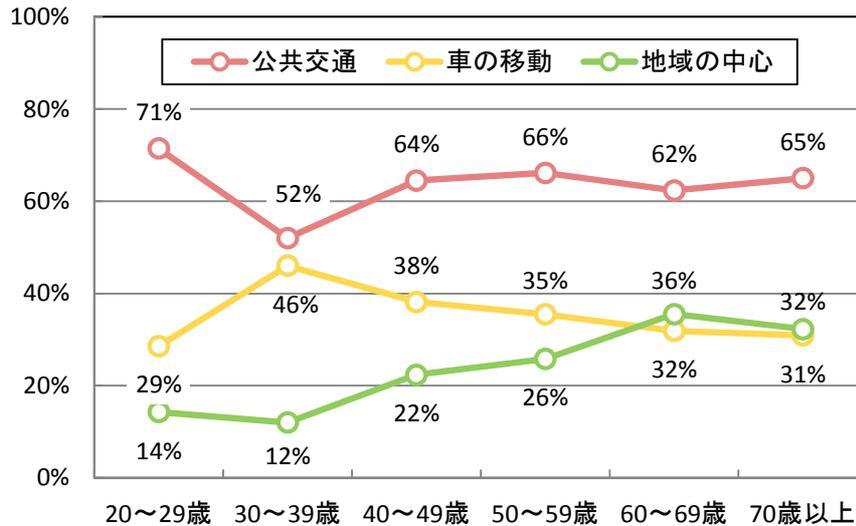


図 年齢別にみた“都市機能の集積を誘導していく区域”を促進する場所

【その他の自由意見】

(都市機能の集積誘導が必要)

- ・ 災害の危険性が低い場所。
- ・ 全市で循環バス等の充実を図り集客しやすい都市機能にすること。
- ・ 高速の近くに新商業施設が必要です。
- ・ 旧市内と言われている地域。
- ・ 公共交通機関でアクセスを良くする。
- ・ 山形大学付近。
- ・ お年よりが移動しやすい場所。
- ・ 住宅地と公共施設は近い方がいい。分ける意味が分からない。
- ・ 計画する人自身が住みたいと思えることが重要だと思います。
- ・ 図書館よりも病院。
- ・ 大胆な都市計画と市民の理解。

(都市機能の集積誘導は必要ではない)

- ・ 都市機能それぞれ目的等が異なるので一概に言えない。
- ・ 今住んでいる村のまちづくりを考えてほしい。
- ・ コンパクトなまちづくりは地域性を失っては意味がないと考える。
- ・ 渋滞を避けるために数箇所に分散させた方が便利なのでは？
- ・ 必要なし。
- ・ 集積しても、交通の便も悪くなると思います。

2-4 分野別まちづくり

(1) 農地の保全又は転用

問16：本市の「市街地内」「市街地外」にある農地について、どのようにお考えですか。

- ・市街地内の農地については、「ある程度の制限を設けて宅地化」と回答している人が55%であり、「現状のまま保全」の32%を上回っている。
- ・市街地外の農地については、「現状のまま保全」（約39%）と「働く場を確保するため業務・工業用地」（約40%）がほぼ同じ割合となっている。

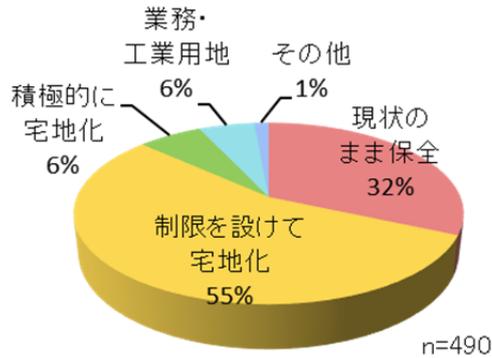


図 農地転用意向構成比（市街地内）

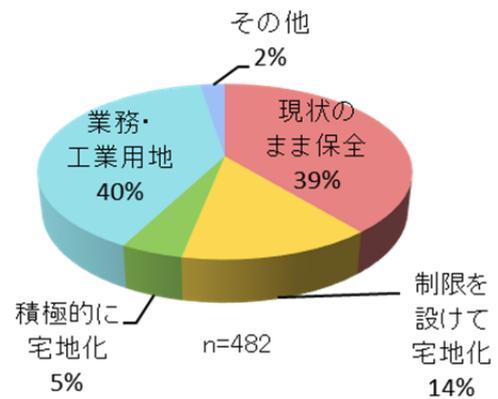


図 農地転用意向構成比（市街地外）

【その他の自由意見】

- ・商業施設が必要なので高速道路の近くだと県外、市外の方も利用できるのをお願いします。
- ・農地としての活用を希望。放置して荒地地ではなく、市も協力の元、特産品の栽培等。
- ・「かんぼの宿」の土地にヘルスセンターを。
- ・宅地化の需要がどのくらいあるのかわからない。
- ・市街地内外に分ける考え方をまずはやめるべきだと思います。
- ・農地を有効利用できるよう柔軟に対応すべき。
- ・人口減少の現状での宅地化は行わない。

(2) 公共交通の利用

問17：現在の生活全般において、最も利用している交通手段と、その交通手段を選択した理由は何ですか。

- ・最も利用している交通手段は「自家用車（自分が運転）」が71%で最も高く、次いで「自家用車（家族等が運転）」が15%であり、自動車による移動が86%を占めている。
- ・年齢別にみると、30歳代は94%が自分で自家用車を運転しており、70歳代以上は自分で自家用車を運転すると回答した人が50%、家族等が運転すると回答した人が25%となっている。
- ・公共交通を利用する理由として「他に選択肢がないから」が41%で最も高い。

【最も利用している交通手段とその理由】

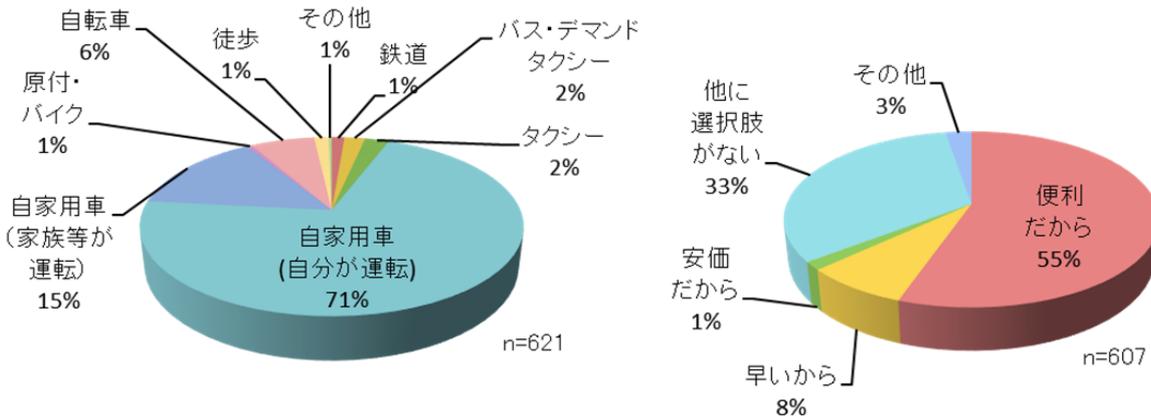


図 最も利用している交通手段構成比

図 交通手段選択理由構成比

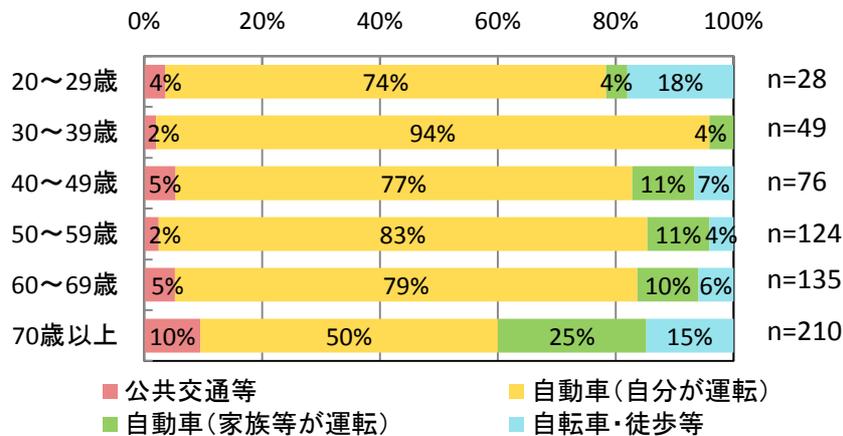


図 年齢別交通手段構成比

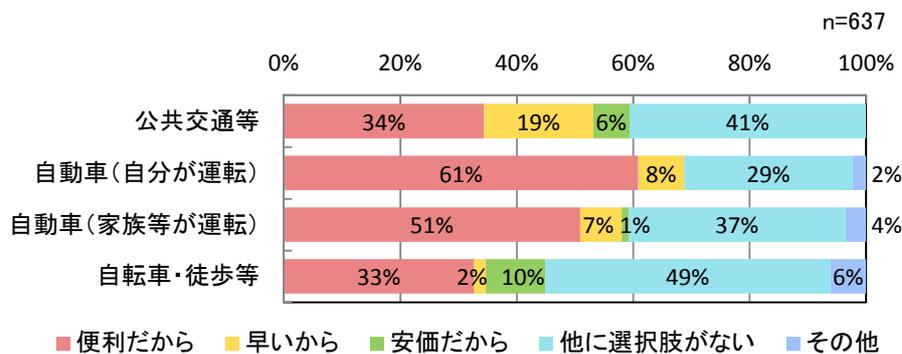


図 交通手段別選択構成比

【施設別にみた交通利用状況】

問18：買い物、通院、余暇活動、その他のお出かけにおいて最も多く利用する「主な交通手段」と「所要時間」をお伺いします。また、それらの交通利便性をどのように感じていますか。

① スーパー・コンビニ

- ・スーパーやコンビニを利用する際の主な交通手段として「自家用車（自分が運転）」が66%で最も高く、次いで「徒歩」が12%、「自転車」が11%と続いている。
- ・所要時間は、「5分以上15分未満」が50%で最も高く、次いで「5分未満」が35%となっている。
- ・交通利便性は、「とても便利」と「どちらかと言えば便利」を合わせると79%を占めており、「どちらかと言えば不便」と「とても不便」を合わせた10%を上回っている。

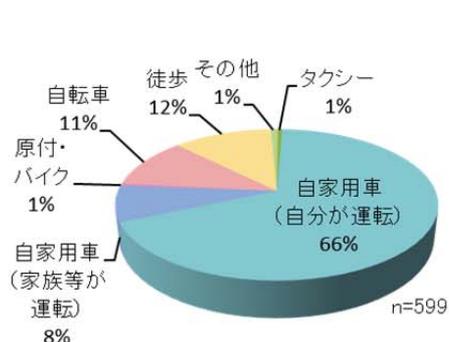


図 主な交通手段

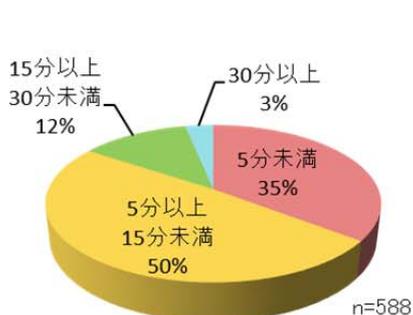


図 所要時間

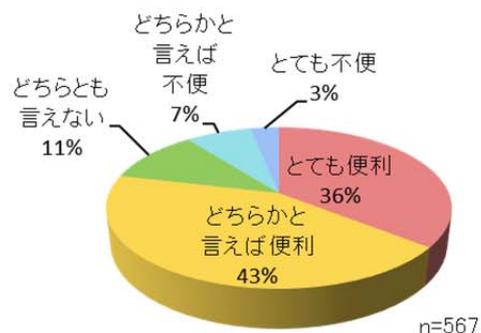


図 交通利便性

② デパート・専門店

- ・デパートや専門店を利用する際の主な交通手段として「自家用車（自分が運転）」が75%で最も高く、次いで「自家用車（家族等が運転）」が14%、「自転車」が7%と続いている。
- ・所要時間は、「5分以上15分未満」が51%で最も高く、次いで「15分以上30分未満」が32%となっている。
- ・交通利便性は、「とても便利」と「どちらかと言えば便利」を合わせると63%を占めており、「どちらかと言えば不便」と「とても不便」を合わせた16%を上回っている。

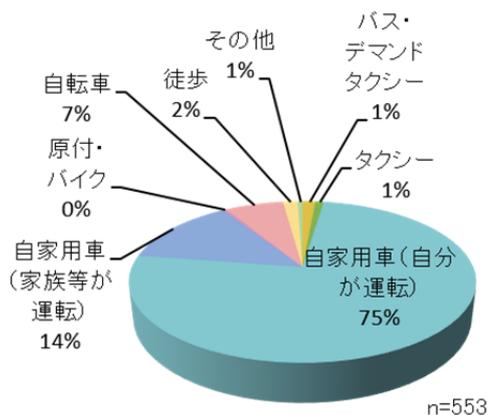


図 主な交通手段

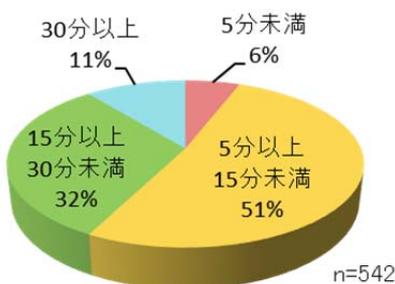


図 所要時間

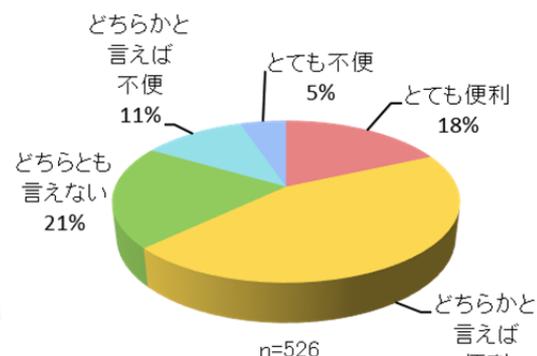


図 交通利便性

③ 飲食店

- ・飲食店を利用する際の主な交通手段として「自家用車（自分が運転）」が66%で最も高く、次いで「自家用車（家族等が運転）」が18%、「徒歩」が6%と続いている。
- ・所要時間は、「5分以上15分未満」が51%で最も高く、次いで「15分以上30分未満」が37%となっている。
- ・交通利便性は、「とても便利」と「どちらかと言えば便利」を合わせると60%を占めており、「どちらかと言えば不便」と「とても不便」を合わせた19%を上回っている。

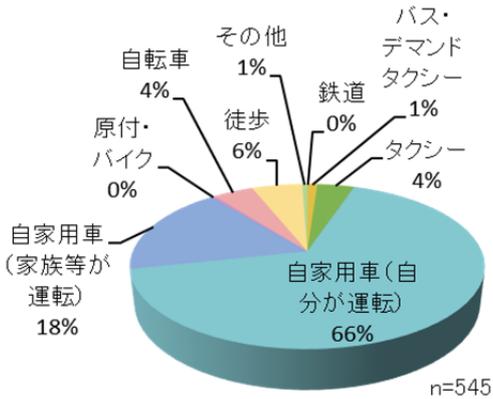


図 主な交通手段

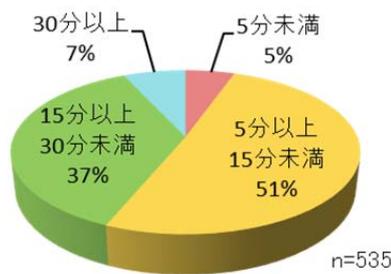


図 所要時間

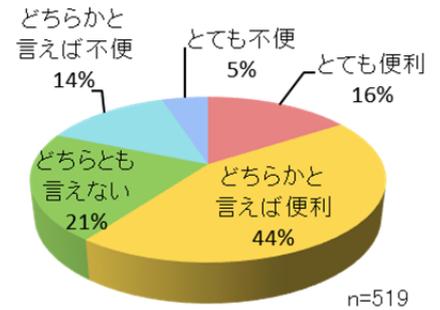


図 交通利便性

④ 医院・診療所

- ・医院や診療所を利用する際の主な交通手段として「自家用車（自分が運転）」が75%で最も高く、次いで「自家用車（家族等が運転）」が10%、「自転車」が7%と続いている。
- ・所要時間は、「5分以上15分未満」が54%で最も高く、次いで「15分以上30分未満」が30%となっている。
- ・交通利便性は、「とても便利」と「どちらかと言えば便利」を合わせると63%を占めており、「どちらかと言えば不便」と「とても不便」を合わせた18%を上回っている。

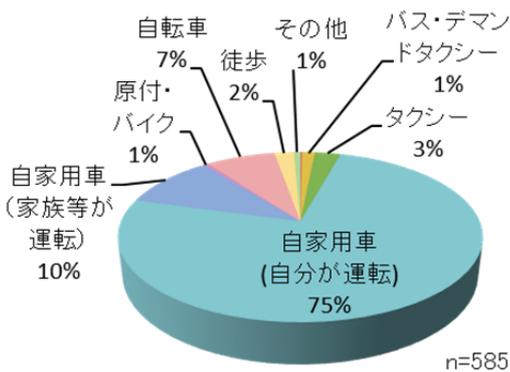


図 主な交通手段

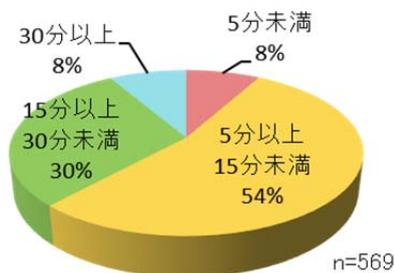


図 所要時間

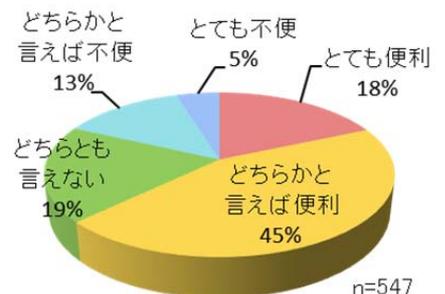


図 交通利便性

⑤ 総合病院

- ・総合病院を利用する際の主な交通手段として「自家用車（自分が運転）」が76%で最も高く、次いで「自家用車（家族等が運転）」が13%、「自転車」が5%と続いている。
- ・所要時間は、「5分以上15分未満」が50%で最も高く、次いで「15分以上30分未満」が32%となっている。
- ・交通利便性は、「とても便利」と「どちらかと言えば便利」を合わせると55%を占めており、「どちらかと言えば不便」と「とても不便」を合わせた22%を上回っている。

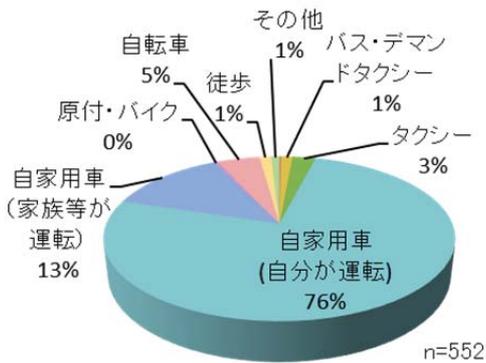


図 主な交通手段

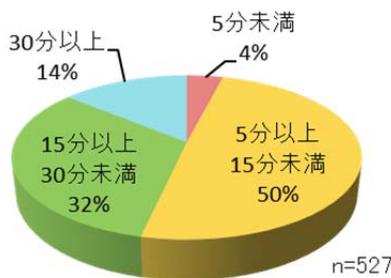


図 所要時間

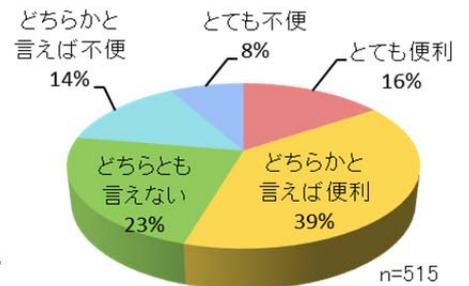


図 交通利便性

⑥ 幼稚園・保育園

- ・幼稚園や保育園を利用する際の主な交通手段として「自家用車（自分が運転）」が72%で最も高く、次いで「自家用車（家族等が運転）」「徒歩」「その他」が7%と続いている。
- ・所要時間は、「5分以上15分未満」が56%で最も高く、次いで「15分以上30分未満」が23%となっている。
- ・交通利便性は、「とても便利」と「どちらかと言えば便利」を合わせると65%を占めており、「どちらかと言えば不便」と「とても不便」を合わせた13%を上回っている。

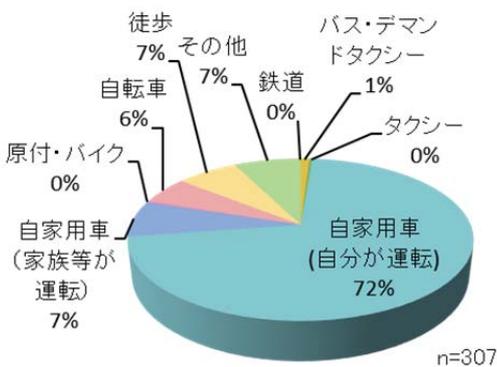


図 主な交通手段

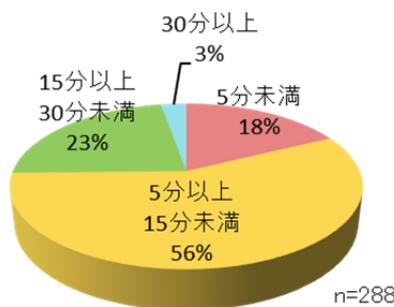


図 所要時間

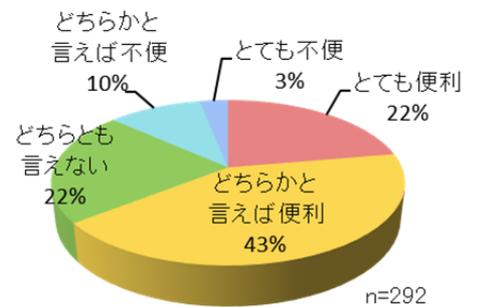


図 交通利便性

⑦ 福祉施設

- ・福祉施設を利用する際の主な交通手段として「自家用車（自分が運転）」が77%で最も高く、次いで「自家用車（家族等が運転）」が9%、「自転車」が6%と続いている。
- ・所要時間は、「5分以上15分未満」が50%で最も高く、次いで「15分以上30分未満」が36%となっている。
- ・交通利便性は、「とても便利」と「どちらかと言えば便利」を合わせると50%を占めており、「どちらかと言えば不便」と「とても不便」を合わせた17%を上回っている。

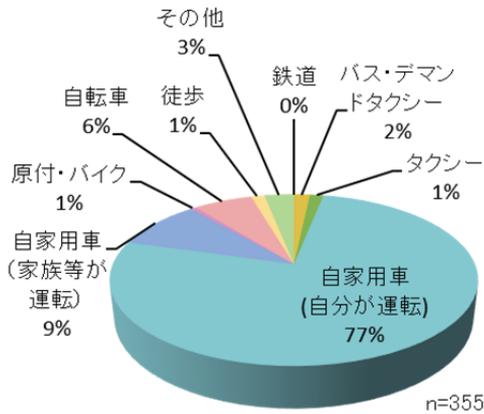


図 主な交通手段

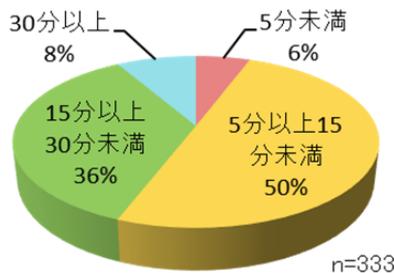


図 所要時間

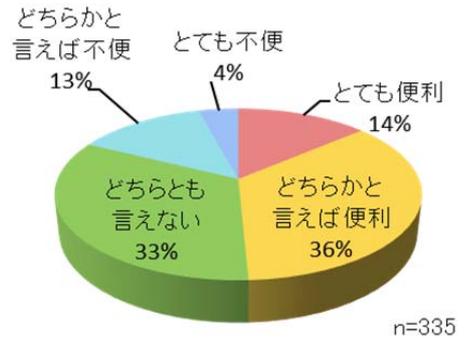


図 交通利便性

⑧ 市役所

- ・市役所を利用する際の主な交通手段として「自家用車（自分が運転）」が77%で最も高く、次いで「自家用車（家族等が運転）」が10%、「自転車」が6%と続いている。
- ・所要時間は、「5分以上15分未満」が53%で最も高く、次いで「15分以上30分未満」が34%となっている。
- ・交通利便性は、「とても便利」と「どちらかと言えば便利」を合わせると60%を占めており、「どちらかと言えば不便」と「とても不便」を合わせた17%を上回っている。

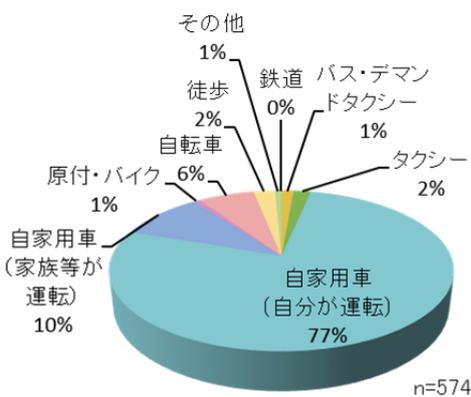


図 主な交通手段

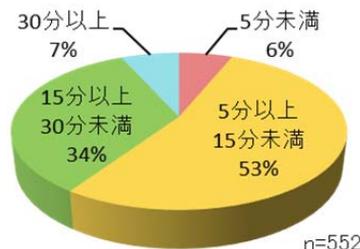


図 所要時間

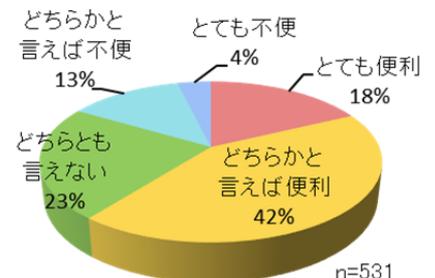


図 交通利便性

⑨ コミュニティセンター

- ・コミュニティセンターを利用する際の主な交通手段として「自家用車（自分が運転）」が72%で最も高く、次いで「自転車」が10%、「自家用車（家族等が運転）」と「徒歩」が7%と続いている。
- ・所要時間は、「5分以上15分未満」が60%で最も高く、次いで「5分未満」が24%となっている。
- ・交通利便性は、「とても便利」と「どちらかと言えば便利」を合わせると67%を占めており、「どちらかと言えば不便」と「とても不便」を合わせた10%を上回っている。

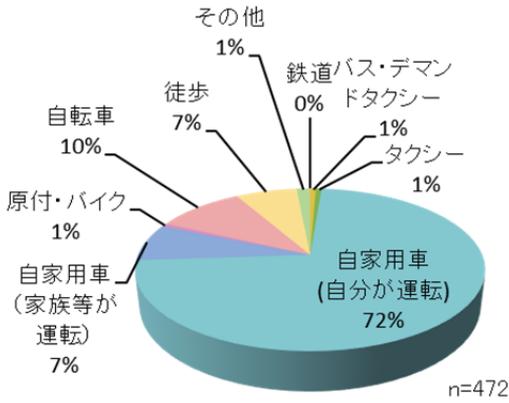


図 主な交通手段

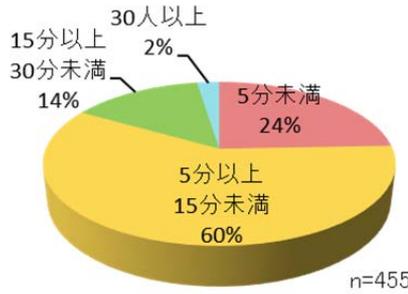


図 所要時間

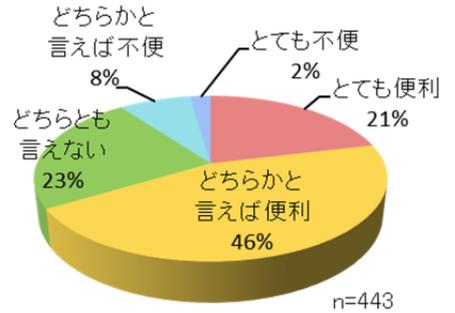


図 交通利便性

⑩ 博物館・文化ホール

- ・博物館や文化ホールを利用する際の主な交通手段として「自家用車（自分が運転）」が77%で最も高く、次いで「自家用車（家族等が運転）」が10%、「自転車」が6%と続いている。
- ・所要時間は、「5分以上15分未満」が54%で最も高く、次いで「15分以上30分未満」が35%となっている。
- ・交通利便性は、「とても便利」と「どちらかと言えば便利」を合わせると55%を占めており、「どちらかと言えば不便」と「とても不便」を合わせた16%を上回っている。

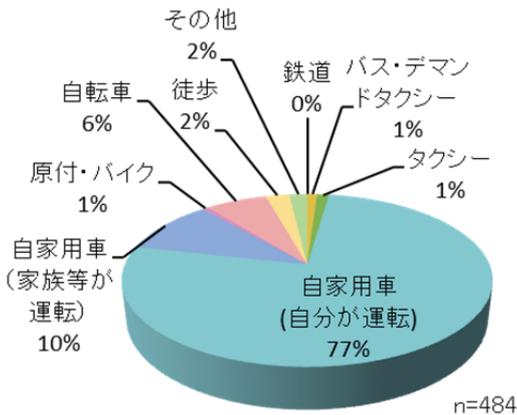


図 主な交通手段

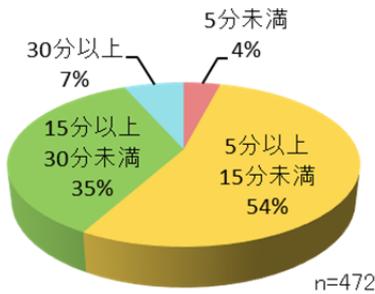


図 所要時間

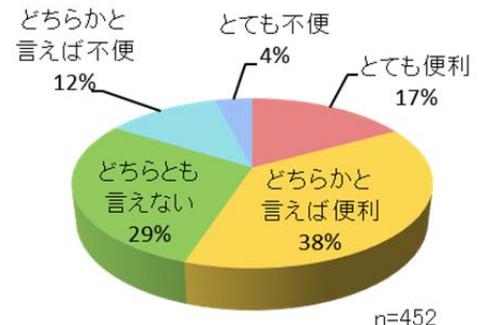


図 交通利便性

【公共交通の利便性が向上した場合の活用意向】

問19：問17で「③ タクシー」「④ 自家用車（自分が運転）」「⑤ 自家用車（家族等が運転）」とお答えした方にお伺いします。鉄道やバス・デマンドタクシーなどの公共交通の利便性が向上した場合、公共交通を利用したいと思いますか。

- ・公共交通の利便性が向上した場合に、52%の人が利用すると回答している。
- ・公共交通を利用しない理由として最も多かったのは「自家用車の方が早くて便利」であり、次いで「時間帯や行き先が合わない」という意見が多かった。
- ・年齢別にみると、70歳以上の66%が公共交通を利用すると回答している。

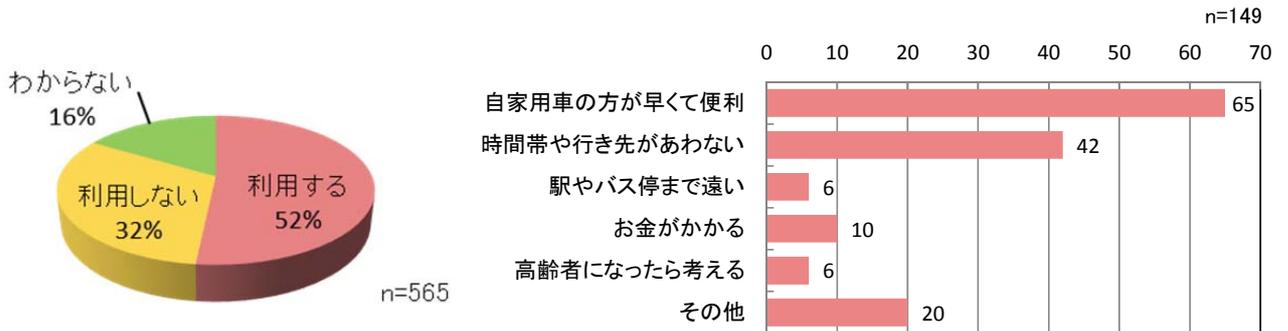


図 公共交通の利便性が向上した場合の活用意向

図 公共交通を利用しない理由 (自由回答)

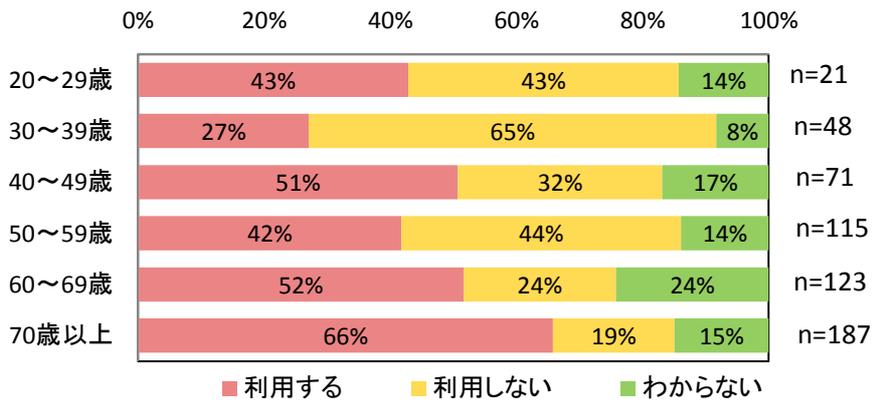


図 年齢別にみた公共交通の利便性が向上した場合の活用意向構成比

(3) 防災への対応

問20：本市の都市防災の強化を進めていく上で、次にあげるもののなかで、あなたが特に重要だと感じるものがありますか。

・防災への対応として、「除排雪の強化」が72%で最も高く、次いで「耐震性の強化」が48%、「行き止まりの解消、地区内の狭い道路の拡幅」が38%、「避難場所となる公園、広場などの確保」が36%となっている。

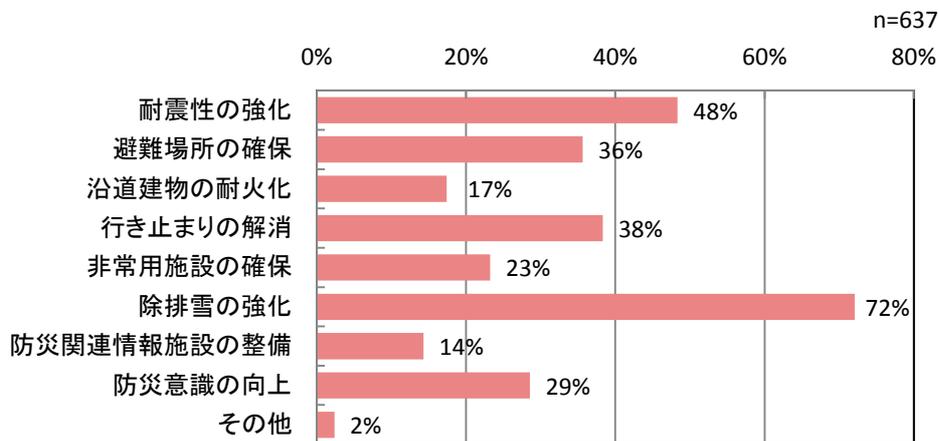


図 重要と考える防災への対応

(4) 景観への配慮

問21：本市の良好な景観づくりを進めていく上で、次にあげるもののなかで、あなたが特に重要だと感じるものがありますか。

- ・景観づくりで必要だと思う施策として、「ごみの不法投棄の防止」が31%で最も高く、次いで「遺跡・史跡、伝統的建造物、古民家などの保全と活用」が28%、「地域の生活の中心となる商店街や地区の中心の魅力づくりと賑わいづくり」が27%、「豊かな川の流れや水辺の景観を守る」と「お祭りや伝統行事、イベントなどの保全と継承」が26%となっている。
- ・自由意見として、空き家や空き地への対策、電線類の地中化などが上げられている。

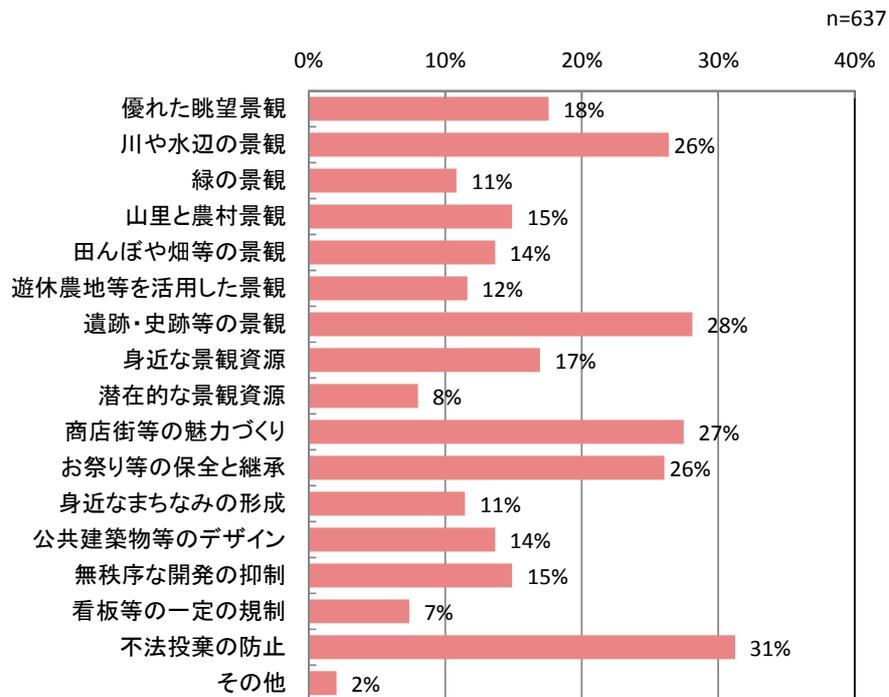


図 重要と考える景観対策

【その他の自由意見】

(ゴミの投棄)

- ・R13の道側、高速道からの法面がゴミだらけ。
- ・市内にゴミ箱の設置と、いつでもゴミや資源ゴミを出せるステーションの設置。
- ・散歩をするがゴミを捨てて行く人がいて心が痛まれる。
- ・観光施設である場所の清掃等。

(空き家・空き地対策)

- ・空き家の撤去。
- ・廃墟住宅（空き家）の整備。

(電線類の地中化)

- ・電柱の排除（地中化）。
- ・電柱の撤去、地中埋設。

(その他)

- ・”景観を守る”のはコストと見合う効果が分かりづらいと思います。
- ・自然は大切にすべきですが、昔ながらの建物に配慮しなくても良い。新しいデザインの建物にも挑戦すべき。
- ・海外から見てみたいと思う部分を広げたい。
- ・広い緑地公園を作ってほしい。

2-5 まちづくりへの住民参加

(1) まちづくりへの参加状況

問22：あなたはこれまで、まちづくりに関する様々な取組や活動に参加したことがありますか。

- ・まちづくりへの参加について、「これまでも参加しているし、今後も参加する」と「これまでは参加していなかったが、今後は参加したい」を合わせると55%の人が今後の米沢市のまちづくりに参加したいと回答している。
- ・まちづくりに参加する理由として最も多かったのは「米沢を良くするため」であり、参加しない理由として最も多かったのは「高齢のため、体力の問題」であった。

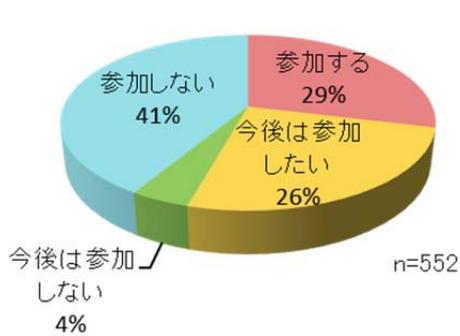


図 まちづくりへの参加意向割合

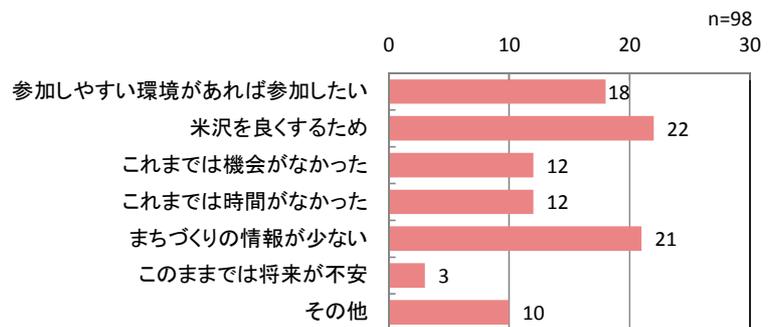


図 これまでまちづくりに参加しなかった理由

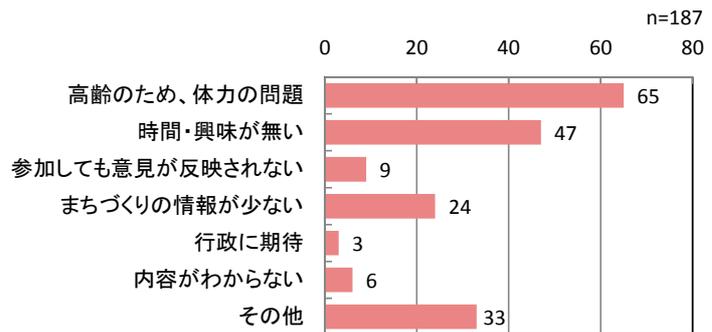


図 今後もまちづくりに参加しない理由

(2) 参加型まちづくりの有効な方策

問23：住みよい地域をつくるための住民参加のまちづくりについて、どのような活動が有効だと思いますか。

- ・住民参加のまちづくりに対して有効な活動として、「まちづくりに関する情報提供」が61%で最も高く、次いで「住民と市との話し合い等の場を増やす」が45%となっている。
- ・その他の意見として、若年層を含めた幅広い年齢層の意見を聞くなどの意見があげられている。

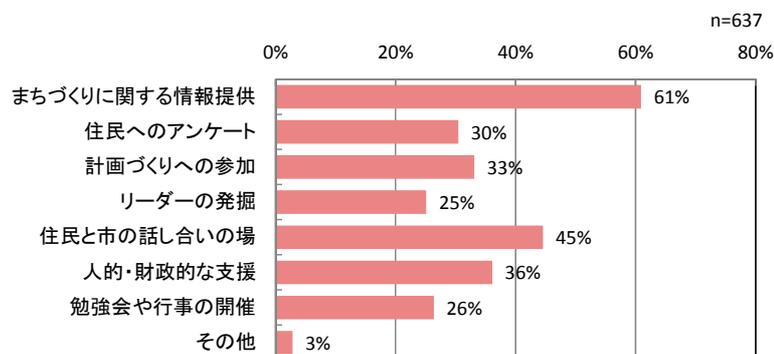


図 住民参加のまちづくりに有効な活動

2-6 まちづくりに対する自由意見

問24：本市のまちづくりについて、ご意見やご提案がありましたらご自由にお書きください。

・まちづくりに関する自由意見として最も多かったのは「排雪対策」に関する意見であり、次いで「中心市街地等の賑わい創出」、「公共交通の充実」、「市民への情報提供と意見の反映」、「米沢市らしさの創出」であった。

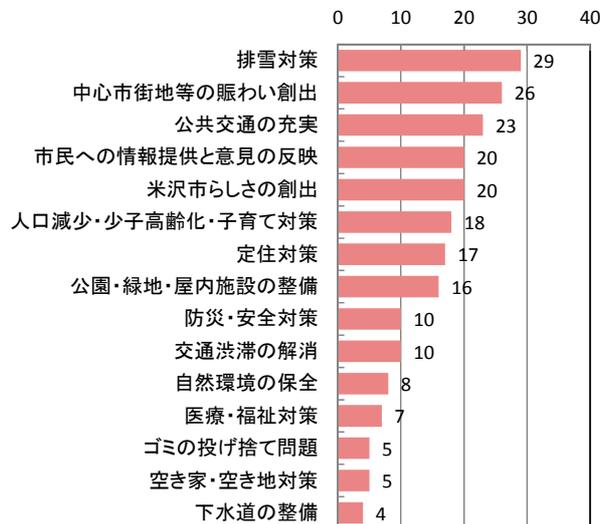


図 主な自由意見

【主な自由意見】

（排雪問題）

- ・市内の空地や空き家にまた住宅を建てるより、雪対策のための土地にする。（夏は駐車場として用いて、密集地にしない）ゆとりある住宅地を形成し、雪に強いまちづくりをする。
- ・吹雪の時の吹き溜まりがひどい。夜中に病人や事故があっても通れなくなる時があるので、風よけの柵などがあると助かる。
- ・米沢はなんと言っても冬の除排雪問題である。雪の問題が解決すればかなり住み良いまちになると思う。雪対策に予算を使ってほしい。
- ・住宅街の除雪が充分でない為、悪路に苦労している。除雪の際の雪のかたまりは出口をふさいでしまい、高齢者は除去するのに大変である。雪の問題はもっともっと改善をお願いする。
- ・雪がかなりふった後の道路がガクガクになった場合の運転がとても大変なので早くに除雪をしてもらいたいです。
- ・除排雪用の側溝を作ってほしい。現在側溝はあるが、水が流れないので2～3日雪が降り続けるとブルが置いていく雪で道路が狭くなり、通学の子どもたちが危険になっている。

（中心市街地等の賑わい創出）

- ・米沢の中心である地域（商店街のあたり）をにぎやかにしてほしい。コンサートやライブ会場を充実させて、有名人を呼んで欲しい。「ナセBA」を中心とした緑地化（広場等）など作ってほしい。空き家の除去を行い、再利用（人が集まれる場所など）してほしい。
- ・市の中心市街地を活性化させるための、イベント行事等について商店街と連携し積極的に開催し、多くの人を参加させる方法が必要です。
- ・米沢市の中心街がドーナツ化状態になっているのは残念に思う。他県から米沢に来た人は、駅前に活気がなく寂しいと聞いている。娯楽施設のような、大人から子どもまで楽しめる場所があれば、わざわざ他県まで出かける必要はなくなると思います。
- ・中心部の空洞化をどう改善してゆくか市報などで知りたい。また働く人の為に話し合いなどの開催時間を土日や17時以降に設けると住民も参加しやすいのではないかと思います。
- ・もっと積極的に観光資源を生かした取り組みをしてほしい。観光客を呼び込み地域の活性につとめる。歴史的資源を生かす。そして中心市街地を活性化させる。景観条例などを活用してはどうか。
- ・お客や観光客が来ても駅前周辺が寂し過ぎる。もう少し活気ができるように考えて欲しい。まちの賑わいが駅前から離れており、窪田方面、田沢方面に移っている。

(公共交通の充実)

- ・すでに二地区で実施、さらに広幡地区でも実施決定しているデマンドタクシーや北部地域包括センター(成島口)で実施計画しているワゴン車利用の(共同買物や娯楽)を当六郷地区にも拡大してほしいとの声が高まってきている。
- ・現在 60 代、運転も出来るので不自由は感じませんが、今後 70 代 80 代になった時、バスも通っていないし、店もないので交通の便などで不安に思う。
- ・市民バスのようなものが米沢全域に欲しい。
- ・どうしても車中心の生活になっているが、環境の為に、もっと公共の交通を使えるような生活ができれば良いと思う。
- ・市街地から離れた地域の交通の利便性が悪い。お年寄りが歩いて行ける範囲に買い物出来る商店を設けてほしい。
- ・上郷地区に市役所、公立病院、公立学校等すべて集約し、公共鉄道、バスを増やし利便性を良くしてもらいたいです。
- ・西部地区のある地域に住んでいます。産休中に自家用車が壊れ、出産前に「車のない生活」を試みましたが、バスがない(ほとんど走ってない)のは本当に不便である。それと、金融機関も公共施設も大型スーパーも、全部立地がバラバラで、身重の体には本当にきつかったです。お年寄りならなおさらだと思います。
- ・バス路線、タイヤの充実を切に希望します。現状、高校生が通学する為のバスについては全く利便性を感じない。冬期間だけでも本数を増やす等、対策を取っていただきたい。

(市民への情報提供と意見の反映)

- ・住民へのアンケートをもっと実施してもらいたい。市の考えをもっと発信してもらいたい。
- ・興味が無い訳ではありませんが、現在何が進行しているか、もう少し情報を頂いてからの方が、回答しやすいと思う。SNS 等を利用して広く情報を収集、活用する方向を検討されてはどうか。
- ・アンケートをもらいましたが米沢市が地震や水害対策を具体的にどのようにしているのかわからないため記入できません。お答えできません。アンケートをする前に市民の方へ市でどのようにしているのか明確にしてから取った方がいいと思う。
- ・多くの意見・提案があると思いますが、老後、生活に不便を感じる事なく住み続ける事が出来るよう、意見・提案を出来る限り実行していただきたい。聞くだけで米沢市が守らなければ意見も出したいというのが高齢者の本音である。
- ・まちづくりなんていうと堅苦しいけど、皆が気軽に参加できて建設的な意見が出てそれを実行して自分たちで造ったまちを誇りにできるまちになると良い。
- ・子どもと一緒に参加出来るような企画を増やしていけば、つながっていくように思う。
- ・今後のまちづくりには、市のまちづくり計画のコンセプトや方向性を市民にアピールし、今後の課題や問題点を共有して、勉強会や意見交換会を開催して大胆な都市計画を策定し、少子化、高齢化社会に即したまちづくりが必要だと思われる。
- ・まちづくりといっても具体的にどこをどう変えていけばよいのか、周りの方たちとお話しても意見を言える人が少なかったなので、まずは情報提供をお願いいたします。

(米沢市らしさの創出)

- ・どこに行っても同じような町並みになっている日本…空洞化の問題などもあると思う。米沢らしさを失わないような、米沢らしい町並みや景観を守ってほしいと思う。
- ・他の市町村にはない「米沢の魅力」が感じられるまちづくりができるといいと思う。
- ・城下町のイメージのまちづくり(米沢の見所があったらいいなと思っている)として、地域ごとにまちづくりの案を聞いて検討してほしい。
- ・“上杉の城下町”というすばらしい歴史があるにもかかわらず、その歴史を目で感じる事ができる景観等が少ないと思う。
- ・歴史のあるまちだが、魅力があって、何度も訪れたいまちとは言い難い。祭り、イベントにももう少し予算を割いてもよいから、見に来たいような事を取り入れてほしい。
- ・米沢市は上杉家の城下町として全国的に見ても有名な歴史と文化の町である。その歴史と上杉文化に応じたようなまちの景観と雰囲気があってほしい。外部からの来訪客も漠然とであってそう期待して来られると思う。景観はすぐできるという性格のものでないので、長期的な視野で上杉家の城下町情緒を感じられるような街並みづくりを目指してほしい。
- ・上杉の城下町にふさわしい歴史と史跡を大切に緑豊かなまちづくりに前進してほしい。